

令和4年度第一回当別町新庁舎建設検討委員会報告書

- 1 日 時 令和4年6月2日（木） 10:00～11:20
- 2 場 所 役場大会議室
- 3 出席者
(出席委員) 高橋委員長、和田副委員長、川村委員、下段委員、石田委員、松岡委員、袴田委員、小貫委員、今堀委員、古城委員
(町及び事務局)
【事務局】 乗木企画部参与、高田事業推進課長
事業推進課 坪井主幹、中鉢主任、山手主事
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議概要
開会后、次第により、次のとおり委員会を取り進めた。
 - ・委員長挨拶
 - ・前回欠席委員の紹介、副委員長選出の報告
前回欠席だった委員（和田委員、川村委員、古城委員）の紹介後、和田委員が副委員長を引き受けていただける旨の報告。副委員長挨拶。
 - ・議 事
事務局より「①令和3年度第一回新庁舎建設検討委員会について②基本構想のパブリックコメントで頂いた意見について③新庁舎の機能について④複合化について⑤第二回検討委員会について」を資料に基づき説明した。
追加の参考資料として「①複合機能に係る防災機能の拡張・拡充の事例②前回の検討委員会で情報提供のあった施設について」を配布した。
 - ・質 疑
委 員：50年後までを見越して新庁舎を建てることを考えると、商店街を含めた地域を盛り上げるにはJAさんの場所が理想的で、前回の検討委員会で白樺公園が1番いいのではという案が出ていたが見直していくべきだと思える。また、財源に関しても縮小していくという声もあったが、民間を活用して図書館や文化センターの複合化を叶える方法を検討してもいいのではないかと考える。
事 務 局：図書館の複合化も同時に考えていったらというお話でしたが、それは図書館が庁舎と一体となってという考え方でしょうか。
委 員：今回ホテルのところでやりますという具体的な話があったが、面積的に今とあまり変わらないんじゃないかなというのが懸念としてある。いままであった町民からの意向を踏まえて作ると、JAさんの場所なら一定程度の面積があるので、民間で建てて、賃貸などで借りていくような形で財政の負担を減らして

いくこともあると思う。

事務局：庁舎と一体かどうかではなく、面積を確保できるような方法を考えていくということでしょうか。

委員：そうですね。調整が色々必要だと思うが、理想的にはその方がいいと思う。財源も役場に関しては、必要な部分を借りるとリースなのかでいけば、前回の会議にあったような必要最低限の機能とそこに関しての費用負担で、同時に考えることは可能だと思う。

事務局：場所に関しましては、基本的にJAさんの敷地と町有地3か所の4か所が候補地に入っており、JAさんを含めた協議というのは今後も続けていきますし、基本構想で点数が高かった白樺公園と現庁舎用地で決定ということではありません。

図書館の話をしました。規模云々というのは置いて、そういった施設があることは、人の流れもできますし、まちづくりの観点から考えても駅前にあることはいいことと思います。

委員：今の子供たちに、ある意味感謝されるものをしっかり検討して作っていくことを考えた時に、現実を見た上で、できるだけ理想的なものができると思う。

委員：農協について、事務所は50年経過し、去年策定した9次計画の中で3年以内にこの農協会館の建て替えについて、方針を出す説明を組合員にしている。

庁舎の話も聞こえる中、自分としては農協は農家の組織ではあるけど、町内の事業者なので、当別町に貢献できること、あるいは当別町の経済に寄与できることは協力すべきだと思っており、農協の土地も検討作業に入っても構わない。ただ、いろんな条件があるためお互いに知恵を出し合っていきたい。

委員長：農協さんはもし候補地に入ったらご協力いただけると。ちなみに倉庫などは移転するんですか。

委員：倉庫は2棟使用中で、無くなるなら代替倉庫が必要になり、1棟を建てるのに3、4億かかる。そのため、西当別の施設を代替施設として使えないかという考えもある。解体費は積み立てており、負担してくださいという話をするつもりはない。土地の取得についても、全面積を取得してもらう方法ではなくてもよい。賃料は無料というわけにはいかないが、安い賃料でよいと考えている。

委員長：今JAさんの考えというのを皆さんにおっしゃっていただき、候補地の1つとしてそういう考えもあるといった報告をいただきましたが、それ以外にも何かご意見ございますか。

委員：当別町立地適正化計画では、2045年には2015年の約半分にまで人口が減少し、高齢者の割合も2倍になっている。結局人口が半分になると、当然、町の収入も減ってくる。これからデジタル化だとかで来庁者や職員数も少なくなるため大きい建物は必要なく、必要最低限があつて、売店、食堂を付け足すのは

最初からではなくても良い。また、大きな買い物するからには今後の支払いの試算が必要となる。いくらぐらいまで耐えられるような財政なのかもわからずに立地だとか、機能も売店、食堂、町民活動スペースなんていない。国からの補助金や交付金などもあるが、おそらく人口にもよると思う。

財政難が心配なので、15年でも耐震設備を充実させて延ばしたらと思うが、このトイレはすごく狭く今風ではなく、直すには給排水設備に費用がかかり、建て直す必要があると思う。建て直すのであれば、町民も議会も納得できる、こんな小さくていいのといわれるぐらいのものでも、結構喜ばれると思う。

委員：おそらく農協も同じような雰囲気です。事務所を整備していかないといけない。農協としてはおそらく向こう10年見越した財政的なシミュレーションを出す。町もそういう数字的な裏付けをもって町民説明会は臨んだ方がいいと思うし、おそらくそういう声が上がってくるのは間違いないと思う。

もう1点、確かに食事のスペースとか、遊興スペースだとかはいいという意見もあったが、せつかく整備するのであれば、そういったスペースで付加的な価値を生み、人を呼びこんでいくかに知恵を絞っていくのも必要だと思う。確かに、無駄な事務スペースはいいが、それだけではなく、当別町全体を見て、駅前施設でいかに振興できるかという観点を、自分は持っていると思っている。

委員：今の話を聞いて、参考になるかわからないが、東川町は現在人口8,000人ぐらいで、人口を増やさずにその規模にあったまちづくりをしているという話を聞いたことがある。先ほど財政シミュレーションの話が出ていたが、この先どのくらい人口増やしていくかを、人口の適正と財源、収入のシミュレーションの中で裏付けていくのがいいと思う。

余談かもしれないが、僕らの世代の一部では、当別は札幌に近くてJRが通り、立地の面ではかなり可能性があると考えている。それは企業に関しても同じではないかと。サツドラの本社が新しくなった時に、10社に事務所を貸して賃料を取り、その中でビジネスが融合するようなコミュニティスペースを作っているといった事例もある。役場職員がこれから減っていき遊休施設になってしまう部分を、民間に貸す方法もあると思うし、そういうニーズは間違いないと思う。

縮めていく部分はしっかりとシミュレーションして、プラスアルファできる可能性は広げていく。当別町はICTを推進していく方針なので、それを把握した企業を誘致していく。そして事務所としてスタートアップしていくことで相乗効果もかなり生まれていくと思う。そういう目線もいいのかなと思う。

委員長：財政シミュレーションなどいろいろな話でしたが、現在の役場の考えはいかがでしょうか。もちろん財政シミュレーションは間違いないかと思

いますが。

事務局：今の時点でいくらまでというよりも、ある程度こういった検討委員会等で中身を議論した中で、これくらいの規模であれば、いくらくらいになるという財政的なシミュレーションをまずは考えてました。今時点というより、もう少し整理した中で出していきたいと考えています。

委員長：立地的なところもあるとは思いますが、そういったことでこれから進めてまいりますので、ご理解いただければと思います。他に何か。

委員：第6次総合計画の策定に携わり、2060年には2万人に人口が増えていく計画になっていたが、実際は広報などを見ると人口が減少している。人口が減ると、国からのお金も少なくなり、当然、税収も少なくなっていく。そうった中で現在借金はある、ウクライナの問題で木材も高くなる等、50億60億かけて建てて、50年後に子供たちが喜ばばいいけれども、借金を負わせる形になってしまうと大変だなと思う。それともう1点は先程申しました通り、町内の人口が減っている状況で、最近西当別では、スウェーデンヒルズの下の方や、市街の中でもあちこちで住宅が建ち、人口が多くなるのは、西当別の方ではないのかなと思う。そういう面から、将来当別を活性化させるためには、庁舎は西当別でもいいと思う。

委員長：今の質問、ご意見に役場からなにかございますか。

事務局：何点かお伝えしたいと思います。活発な意見ありがとうございます。整理させていただくと、今回の役場庁舎を起点に町の活性化につながる事業を起こせないかが、おそらく候補地を決めるテーマになり、その中でまちの中で大きな事業者さんの農協さんにご協力をいただけるのであれば、1つの大きな視点になるかなと思います。一方、規模感というお話であります。計画の中で確かに2万人を目標に進んでおりますが、第三者からの半減するだろうという見方は、子供が生まれていないので当然だと思いますので、そこは考えていかないといけないと思います。庁舎は小さく作るといまの職員が入ることができず、かと言って1回建てるのと縮めることはできない。その課題の解決策の1つに、庁舎でしか使えないものを建てるのではなく、マルチに使えるようなものを建てれば、規模感に応じた使い方ができるだろうというのはあります。この考え方は、最近の公共の方で資産を持たずに借りて使う考え方になり、それでよく出てくるのがリース方式だとか、あるいはPFIの話がよく聞かれる。ぜひ、そういった考え方を含めて考えていきたい、検討していきたいというのが本日のテーマの1つで、民間の資金などを使っていく考え方はあると思っています。もう1点、財政シミュレーションも含めた想定は、世に示さなければならぬと考えており、継続して進めていきたいと思っています。

1つ今日の議論を聞いて、役場庁舎として使う部分は町の予算で、そうでは

ない交流スペースとかの部分には民間あるいは受益者が負担するような仕組み作りができれば、おそらく持続可能な形の施設整備ができると思いました。そこを満たす事業者を、今後まちに呼び込んでいくにはどうしていくかを考えるべきかなと思いました。

もう1点、今日お伝えしてる中で駅前にビルが建ちますといった話があります。全然決まったものではなく、今回ケーススタディのような形でご紹介しました。ポイントになるのは人を集めることで、図書館がそこにあれば、そこで本を読みながら勉強するなどのスペースとして使用できる考え方もあります。暮らしやすい機能を役場庁舎という観点ではなく、そこにある民間施設も含めた中で複合的に使っていくという考え方を示すのに、今回紹介させていただいたところです。

1つの庁舎、施設に詰め込むと規模感が合わなくなったりしますが、デジタル化の進展で、施設が複数に分散していてもサービスは提供できる感覚を持っていて、今回意見を聞いている中で、今後もこの考えで進めていいのかなと思いました。

委員 長：まとめのような話でありましたが、ほかに何かございますか。

委員：スケジュールとしては戻ったというか、今後農協の関係を含め議論が必要だと思いますが、スケジュールのバッファはどれくらいありますか。ここに出ている住民説明会開催などのスケジュールは案なのでまだ確定ではないと思いますが、お答えできれば。

事務局：なかなかお答えしづらいというのが正直なところですが、どのくらいバッファがあるかと言われると、正直大きな地震が来ないでというのを祈るしかないと思います。ただ、議論の流れをお示しする必要は必ずあります。普通は固まった内容で議論しますが、ふわっとした段階から議論して町の将来を考えることが1番大事なところだと考えており、仮にスケジュール感がずれても、まずは今考えてるスケジュールと、そこまでにまとまった内容で方向性についてお伝えしたいと考えています。ただ、できることであれば、今年度中には方向性は示したいとは思っています。

委員：参考程度に。JAは候補の1つですが、うちの組織決定の過程というのが、委員会、理事会、最終決定機関で総代会であります。1年に1回、毎年4月の総代会で決定を受けないと、農協としてはそれを実行できない仕組みになっているので、ご承知おきください。

委員 長：いろんな意見が出ましたけども、11月から1月ぐらいまでの住民説明会を目標に方向性だけというのは、なかなか難しいと思いますが、それでも住民説明会はやるという想定です。基本的にこれは検討委員会ですから、みなさんの意見を集約しますが、ここで決まったことが決定するわけではないです。役場と

一緒に検討していくということで進めていきますので、住民説明会などでいろいろな意見が出るとは思いますが、決めれるところは決めていきたいと思っております。

他になにかございますでしょうか。ありませんか。ないようでしたら、前回の委員会及びパブリックコメントにおいて出た意見のまとめから、現庁舎に不足している機能として防災機能の説明と、複合化についての事務局の考え方、事業費を低減させる補助金の説明がありました。皆様には、今後も事業手法など、引き続き審議していただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- ・その他

事務局より、次回の委員会は7月もしくは8月に開催する旨連絡した。

以上